

8. まとめ.....	488
第7章 新分類による維持・改善・悪化群別提供サービス料の経年的変化.....	489
1. 訪問介護(身体).....	489
2. 訪問介護(身体・家事).....	489
3. 訪問介護(家事).....	490
4. 訪問入浴.....	491
5. 訪問看護.....	491
6. 訪問リハ.....	492
7. 通所介護.....	493
8. 通所リハ.....	493
9. 用具貸与(車いす).....	494
10. 用具貸与(特殊寝台).....	495
11. 用具貸与(その他).....	495
12. 短期生活.....	496
13. 短期保健.....	497
14. 短期医療.....	497
15. 療養管理(医師・歯科医師).....	498
16. 療養管理(その他).....	498
17. 認知症対応.....	499
第8章 1分間タイムスタディ調査による分析データによる在宅・GH・施設におけるケア内容別提供時間の比較 500	
1. 調査対象高齢者の属性.....	500
2. ケア提供場所(在宅・GH・施設)別提供時間.....	504

第9章 在宅およびグループホームに入所中の高齢者における精神行動障害ならびに睡眠障害の実態把握と対処課題の抽出.....	524
1. 目的	524
2. 研究対象と方法	525
3. まとめと考察.....	529
4. 結論	531

図表目次

図 1-1	分析データと全国データにおける年齢階層の構成割合	407
図 1-2	分析データと全国データにおける男性の年齢階層別構成割合	408
図 1-3	分析データと全国データにおける女性の年齢階層別構成割合	409
図 1-4	分析データと全国データにおける要介護度構成割合	410
図 1-5	男性における分析データと全国データにおける要介護度構成割合	411
図 1-6	女性における分析データと全国データにおける要介護度構成割合	412
図 1-7	分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合	413
図 1-8	全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合	414
図 1-9	分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合（男性）	415
図 1-10	分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合（女性）	416
図 1-11	全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合（男性）	417
図 1-12	全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合（女性）	418
図 2-1	要介護認定等基準時間の推移（ボックスチャート）	420
図 2-2	男女別の要介護認定等基準時間の経年的な変化	421
図 2-3	年齢階層別の要介護認定等基準時間の経年的な変化	422
図 2-4	男性の年齢階層別要介護認定等基準時間の経年的な変化	422
図 2-5	女性の年齢階層別要介護認定等基準時間の経年的な変化	423
図 2-6	第1群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）	424
図 2-7	男女別の第1群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的変化	425
図 2-8	年齢階層別第1群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的な変化	425
図 2-9	男性の年齢階層別第1群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的な変化	426
図 2-10	女性の年齢階層別第1群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的な変化	426
図 2-11	第2群（移動等関連）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）男女別	427
図 2-12	男女別第2群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	427
図 2-13	年齢階層別第2群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	428
図 2-14	男性の年齢階層別第2群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	429
図 2-15	女性の年齢階層別第2群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	430
図 2-16	第3群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）	431
図 2-17	男女別第3群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	431
図 2-18	年齢階層別第3群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	432
図 2-19	男性の年齢階層別第3群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の経年的変化	433

図 2-20	女性の年齢階層別第 3 群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	433
図 2-21	第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）	434
図 2-22	男女別第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	434
図 2-23	年齢階層別第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	435
図 2-24	年齢階層別第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（男性）	436
図 2-25	年齢階層別第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（女性）	436
図 2-26	第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）	437
図 2-27	男女別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	437
図 2-28	年齢階層別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	438
図 2-29	年齢階層別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	439
図 2-30	年齢階層別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	439
図 2-31	第 6 群（コミュニケーション等に関連する項目）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）	440
図 2-32	男女別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	440
図 2-33	年齢階層別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	441
図 2-34	年齢階層別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（男性）	442
図 2-35	年齢階層別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点の	442
図 2-36	第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の推移（ボックスチャート）	443
図 2-37	男女別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	443
図 2-38	年齢階層別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	444
図 2-39	年齢階層別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（男性）	445
図 2-40	年齢階層別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（女性）	445
図 3-1	ケア提供場所別要介護者の要介護度の分布	451
図 3-2	ケア提供場所別要介護認定等基準時間の経年的な変化	452
図 3-3	男性のケア提供場所別要介護認定等基準時間の経年的な変化	453
図 3-4	女性のケア提供場所別要介護認定等基準時間の経年的な変化	453
図 3-5	ケア提供場所別第 1 群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的な変化	454
図 3-6	男性のケア提供場所別第 1 群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的な変化	455
図 3-7	女性のケア提供場所別第 1 群（麻痺・拘縮等）の中間評価項目得点の経年的な変化	455
図 3-8	ケア提供場所別第 2 群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	456
図 3-9	男性のケア提供場所別第 2 群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	457
図 3-10	女性のケア提供場所別第 2 群（移動等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	457
図 3-11	ケア提供場所別第 3 群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	458

図 3-12	男性のケア提供場所別第 3 群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の	459
図 3-13	女性のケア提供場所別第 3 群（複雑な動作等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	459
図 3-14	ケア提供場所別第 4 群（特別な介護等関連）中間評価項目得点の経年的な変化	460
図 3-15	ケア提供場所別第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（男性）	461
図 3-16	ケア提供場所別第 4 群（特別な介護等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（女性）	461
図 3-17	ケア提供場所別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点	462
図 3-18	ケア提供場所別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点	463
図 3-19	ケア提供場所別第 5 群（身の回りの世話等関連）の中間評価項目得点の	463
図 3-20	ケア提供場所別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点	464
図 3-21	ケア提供場所別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点	465
図 3-22	ケア提供場所別第 6 群（コミュニケーション等関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（女性）	465
図 3-23	ケア提供場所別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化	466
図 3-24	ケア提供場所別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（男性） 4	467
図 3-25	ケア提供場所別第 7 群（問題行動関連）の中間評価項目得点の経年的な変化（女性）	467
図 5-1	d12(5) に関する度数分布	480
図 5-2	d23(5) に関する度数分布	480
図 5-3	d34(5) に関する度数分布	480
図 5-4	d14(5) に関する度数分布	481
図 5-5	θ12(5) に関する度数分布	481
図 5-6	θ23(5) に関する度数分布	482
図 5-7	θ34(5) に関する度数分布	482
図 5-8	θ14(5) に関する度数分布	482
図 6-1	麻痺・拘縮分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	484
図 6-2	移動分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	485
図 6-3	複雑な動作等分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	486
図 6-4	特別な介護等分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	486
図 6-5	身の回りの世話分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	487
図 6-6	コミュニケーション分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	487
図 6-7	問題行動分類による維持・悪化・改善別各群角度指標	488
図 7-1	訪問介護（身体）サービスの新分類別経年的な変化	489
図 7-2	訪問介護（身体・家事）サービスの新分類別経年的な変化	490
図 7-3	訪問介護（家事）サービスの新分類別経年的な変化	490

図 7-4	訪問入浴サービス料の新分類別経年的変化.....	491
図 7-5	訪問看護サービス料の新分類別経年的変化.....	492
図 7-6	訪問リハサービス料の新分類別経年的変化.....	492
図 7-7	通所介護サービスの分類別経年的変化.....	493
図 7-8	通所リハサービスの分類別経年的変化.....	494
図 7-9	用具貸与(車いす) サービス料の新分類別経年的変化.....	494
図 7-10	用具貸与(特殊寝台) サービスの新分類別経年的変化.....	495
図 7-11	用具貸与(その他) サービス料の新分類別経年的変化.....	496
図 7-12	短期生活サービス料の新分類別経年的変化.....	496
図 7-13	短期保健サービスの分類別経年的変化.....	497
図 7-14	短期医療サービス料の新分類別経年的変化.....	498
図 7-15	療養管理(医師・歯科医師) の分類別経年的変化.....	498
図 7-16	療養管理(その他) の分類別経年的変化.....	499
図 7-17	認知症対応の分類別経年的変化.....	499
図 8-1	ケア提供場所別調査対象者の中間評価項目得点の平均値.....	504
図 8-2	在宅における平均ケア提供時間の分布.....	505
図 8-3	GHにおける平均ケア提供時間の分布.....	505
図 8-4	施設における平均ケア提供時間の分布.....	506
図 8-5	ケア提供場所別大分類別平均ケア提供時間の割合.....	507
図 9-1	認知機能グレードと頻度.....	532
図 9-2	睡眠障害および随伴精神行動障害(BPSD)の出現頻度.....	533
図 9-3	BPSD カテゴリの障害頻度(攻撃的行動).....	534
図 9-4	BPSD カテゴリの障害頻度(行動の過多と変質).....	534
図 9-5	BPSD カテゴリの障害頻度(不安と焦燥).....	534
図 9-6	BPSD カテゴリの障害頻度(その他の諸症状).....	534
図 9-7	各睡眠障害の障害頻度(入眠困難).....	535
図 9-8	各睡眠障害の障害頻度(睡眠維持障害).....	535
図 9-9	各睡眠障害の障害頻度(昼夜逆転).....	535
図 9-10	認知機能グレードとBPSD カテゴリ(攻撃的行動).....	536
図 9-11	認知機能グレードとBPSD カテゴリ(行動の過多と変質).....	536
図 9-12	認知機能グレードと4つのBPSD カテゴリ(不安と焦燥).....	537
図 9-13	認知機能グレードと4つのBPSD カテゴリ(その他の諸症状).....	537
図 9-14	認知機能グレードと睡眠障害の頻度(入眠困難).....	538

図 9-15	認知機能グレードと睡眠障害の頻度(睡眠維持障害)	538
図 9-16	認知機能グレードと睡眠障害の頻度(昼夜逆転)	539
図 9-17	BPSD カテゴリ(攻撃的行動)と昼夜逆転の関連性	540
図 9-18	BPSD カテゴリ(行動の過多と変質)と昼夜逆転の関連性	540
図 9-19	4つの BPSD カテゴリと睡眠障害の関連性(不安と焦燥)	541
図 9-20	4つの BPSD カテゴリと睡眠障害の関連性(その他の諸症状)	541

第1章 データ分析に用いた要介護者の性別・年齢別の基礎的属性 -全国調査との比較より-

本章では、本分析に用いた要介護高齢者 72660 人分の経年的なデータにおける基本属性を明らかにするとともに、介護給付費実態調査月報(平成 21 年 12 月審査分)における 396.3 万人の全国の介護保険サービス受給者の傾向との比較を行った。

1. 基本属性

1) 性別

男女の構成割合は、分析データでは、男性は 30.9%、女性が 69.1%であり、全国データの男性 29.3%、女性 71.0%とほぼ同じ傾向を示していた。

表 1-1 分析データと全国データにおける男女の構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
男性	22469	30.9	1 159.6	29.3
女性	50191	69.1	2 813.8	71.0
合計	72660	100.0	3 963.4	100.0

※全国データの N 数の単位は千人

2) 年齢階層

年齢階層の構成割合については、分析データにおいては一番多いのが 80 歳以上 85 歳未満は 25.0%であり、続いて 85 歳以上 90 歳未満 20.7%、75 歳以上 80 歳未満 20.5%であった。

全国データでは、85 歳以上 90 歳未満が 24.1%と一番多く、続いて 80 歳以上 85 歳未満 23.8%、75 歳以上 80 歳未満が 15.4%であった。やや、全国データのほうが年齢階層が高い傾向がみられた。これは、本研究のデータが経年的変化について 3 回のデータを持っている要介護高齢者を対象としたためと考えられた。

表 1-2 分析データと全国データにおける年齢階層の構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
40 歳以上 65 歳未満	2769	3.8	133.6	3.4
65 歳以上 70 歳未満	4831	6.6	171.7	4.3
70 歳以上 75 歳未満	9212	12.7	321.5	8.1
75 歳以上 80 歳未満	14896	20.5	611.8	15.4
80 歳以上 85 歳未満	18198	25.0	942.4	23.8
85 歳以上 90 歳未満	15013	20.7	954.8	24.1
90 歳以上 95 歳未満	6459	8.9	577.2	14.6
95 歳以上	1282	1.8	250.5	6.3
合計	72660	100.0	3963	100.0

※全国データの N 数の単位は千人

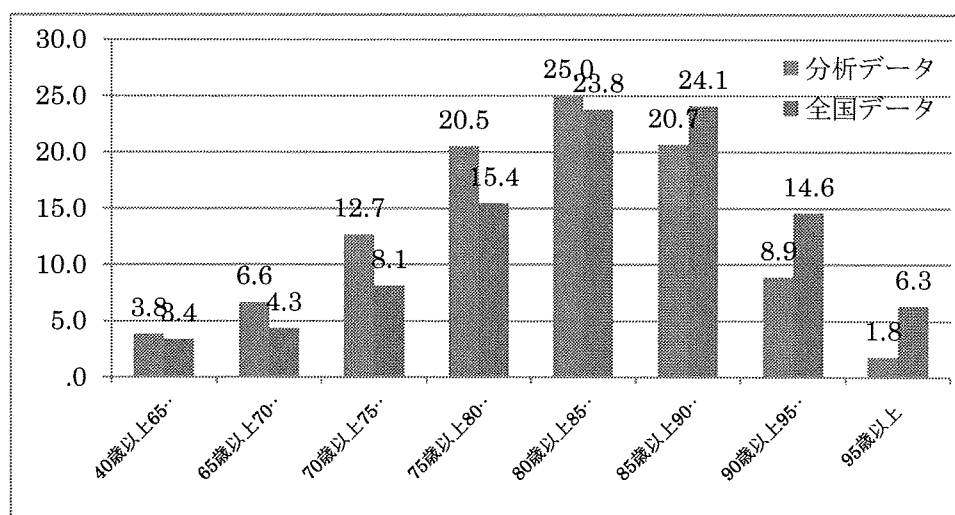


図 1-1 分析データと全国データにおける年齢階層の構成割合

3) 性別年齢階層

男女別年齢階層の構成割合について、全国データおよび分析データについて比較を行ったところ、男女ともに全国データのほうが年齢階層が高い傾向があり、それは男性より女性のほうに顕著にみられた。

表 1-3 分析データと全国データにおける男性の年齢階層別構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
40歳以上 65歳未満	1375	6.1	73.3	6.4
65歳以上 70歳未満	2188	9.7	89.4	7.8
70歳以上 75歳未満	3614	16.1	143.8	12.5
75歳以上 80歳未満	4472	19.9	220.1	19.1
80歳以上 85歳未満	4896	21.8	270.5	23.5
85歳以上 90歳未満	3970	17.7	205.6	17.9
90歳以上 95歳未満	1669	7.4	108.6	9.4
95歳以上	285	1.3	38.3	3.3
合計	22469	100.0	1 149.6	100.0

※全国データのN数の単位は千人

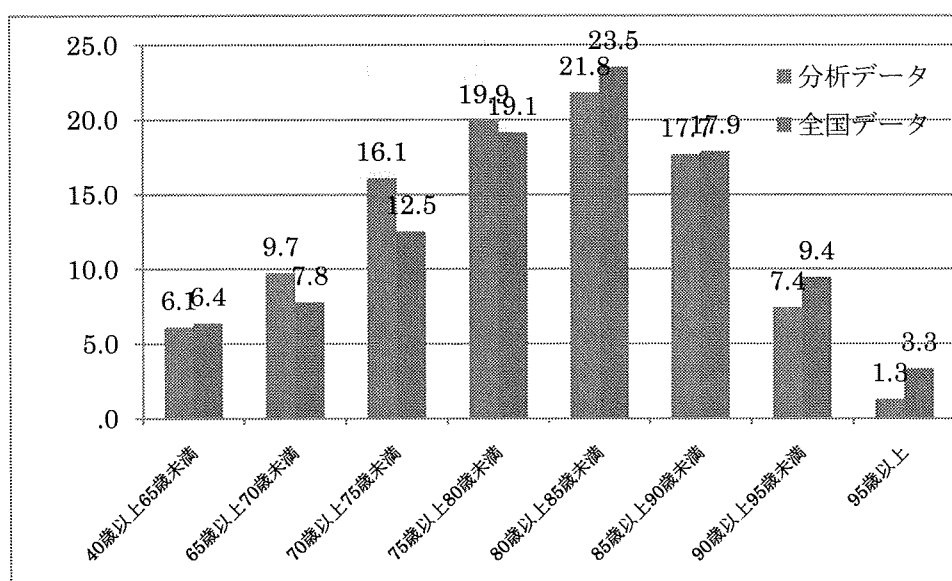


図 1-2 分析データと全国データにおける男性の年齢階層別構成割合

表 1-4 分析データと全国データにおける女性の年齢階層別構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
40歳以上 65歳未満	1394	2.8	60.3	2.1
65歳以上 70歳未満	2643	5.3	82.3	2.9
70歳以上 75歳未満	5598	11.2	177.7	6.3
75歳以上 80歳未満	10424	20.8	391.7	13.9
80歳以上 85歳未満	13302	26.5	671.9	23.9
85歳以上 90歳未満	11043	22.0	749.2	26.6
90歳以上 95歳未満	4790	9.5	468.5	16.7
95歳以上	997	2.0	212.3	7.5
合計	50191	100.0	2 813.8	100.0

※全国データのN数の単位は千人

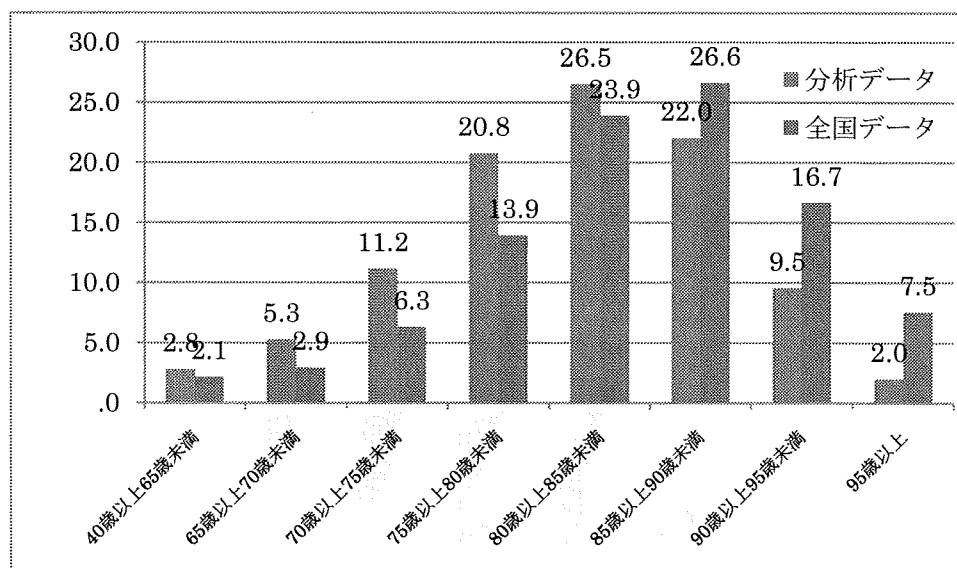


図 1-3 分析データと全国データにおける女性の年齢階層別構成割合

2. 要介護度（二次判定）

1) 要介護度

要介護度について、分析データにおいて一番多かったのは、要介護1で34.5%であった。続いて、要支援が22.3%、要介護2が20.8%となっている。

全国データにおいては、一番多いのは要支援20.9%、続いて要介護2で19.1%、要介護1で17.3%であった。分析データは、要介護4や要介護5といった要介護度が高い集団において経年的変化の観測期間を維持できなかったためと推察された。

表 1-5 分析データと全国データにおける要介護度構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
非該当	544	.7	-	-
要支援	16175	22.3	827.9	20.9
要介護1	25094	34.5	685.0	17.3
要介護2	15080	20.8	757.0	19.1
要介護3	8765	12.1	669.5	16.9
要介護4	5241	7.2	563.9	14.2
要介護5	1761	2.4	460.0	11.6
合計	72660	100.0	3 963.4	100.0

※全国データのN数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援1要支援2を足して、要支援者としている。

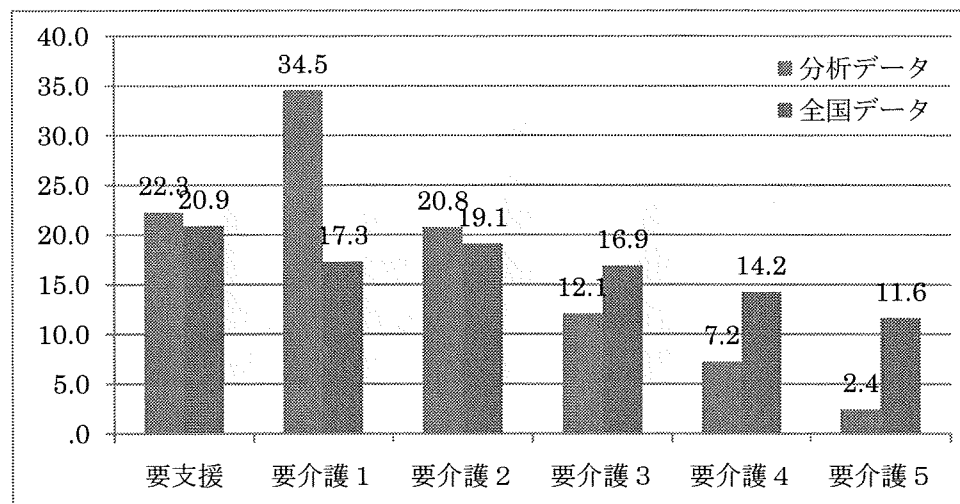


図 1-4 分析データと全国データにおける要介護度構成割合

2) 性別要介護度

男女別に要介護度について分析を行ったが、分析データが全国データより、要介護4や要介護5といった要介護度が高い集団が少なく、要介護1が多い傾向は男女ともに同じであった。

表 1-6 男性における分析データと全国データにおける要介護度構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
非該当	104	.5	-	-
要支援	3995	17.8	200.2	17.4
要介護1	7339	32.7	195.1	17.0
要介護2	5332	23.7	249.4	21.7
要介護3	3166	14.1	218.8	19.0
要介護4	1896	8.4	168.1	14.6
要介護5	637	2.8	118.1	10.3
合計	22469	100.0	1 149.6	100.0

※全国データのN数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援1 要支援2を足して、要支援者としている。

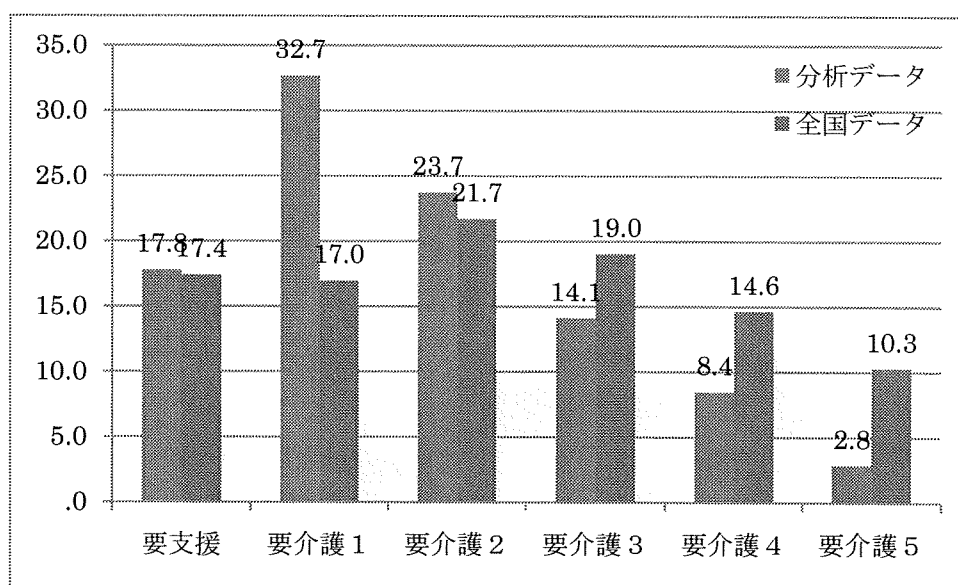


図 1-5 男性における分析データと全国データにおける要介護度構成割合

表 1-7 女性における分析データと全国データにおける要介護度構成割合

	分析データ		全国データ	
	N	%	N	%
非該当	440	.9	-	-
要支援	12180	24.3	627.7	22.3
要介護 1	17755	35.4	489.9	17.4
要介護 2	9748	19.4	507.6	18.0
要介護 3	5599	11.2	450.8	16.0
要介護 4	3345	6.7	395.8	14.1
要介護 5	1124	2.2	342.0	12.2
合計	50191	100.0	2 813.8	100.0

※全国データの N 数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援 1 要支援 2 を足して、要支援者としている。

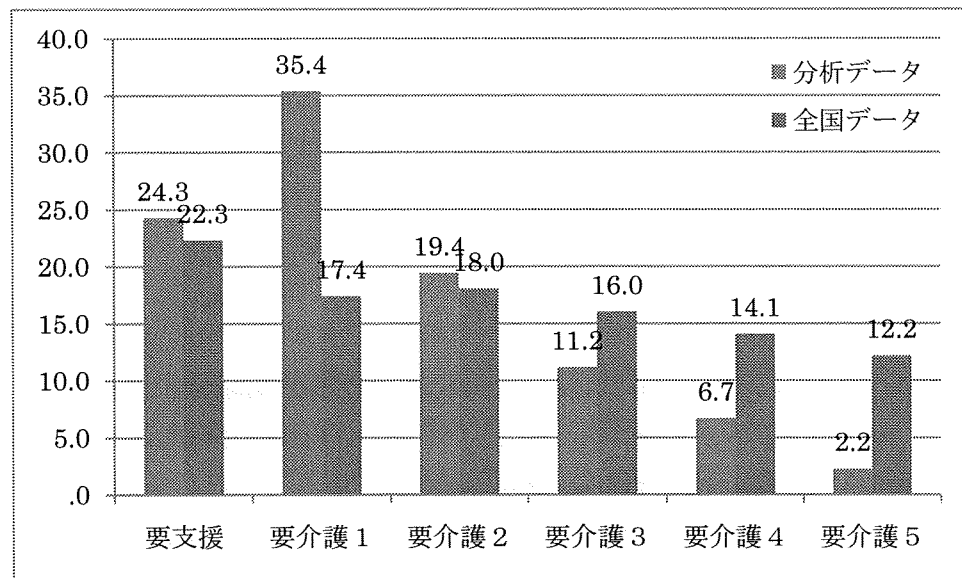


図 1-6 女性における分析データと全国データにおける要介護度構成割合

3) 年齢階層別要介護

年齢階層別に分析データと全国データにおける要介護度の構成割合を見たところ、分析データにおいては、要支援の割合に着目すると80～84歳が26.2%と一番高く、続いて75～79歳が26.0%と多かった。これらの年齢階層をピークとして若年になるほど、あるいは高齢になるほど、重度の割合が多くなる傾向が示された。これらの傾向は、全国データについても同様であった。

表 1-8 分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合

	40～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
非該当	4	0.1	19	0.4	48	0.5	132	0.9	182	1.0	127	0.8	29	0.4	3	0.2
要支援	232	8.4	835	17.3	2052	22.3	3867	26.0	4767	26.2	3260	21.7	1050	16.3	112	8.7
要介護1	793	28.6	1712	35.4	3192	34.7	5306	35.6	6420	35.3	5235	34.9	2094	32.4	342	26.7
要介護2	798	28.8	1095	22.7	1958	21.3	2826	19.0	3433	18.9	3121	20.8	1539	23.8	310	24.2
要介護3	507	18.3	670	13.9	1079	11.7	1535	10.3	1914	10.5	1847	12.3	941	14.6	272	21.2
要介護4	328	11.8	366	7.6	657	7.1	897	6.0	1110	6.1	1070	7.1	619	9.6	194	15.1
要介護5	107	3.9	134	2.8	226	2.5	333	2.2	372	2.0	353	2.4	187	2.9	49	3.8
	2769	100.0	4831	100.0	9212	100.0	14896	100.0	18198	100.0	15013	100.0	6459	100.0	1282	100.0

※全国データのN数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援1要支援2を足して、要支援者としている。

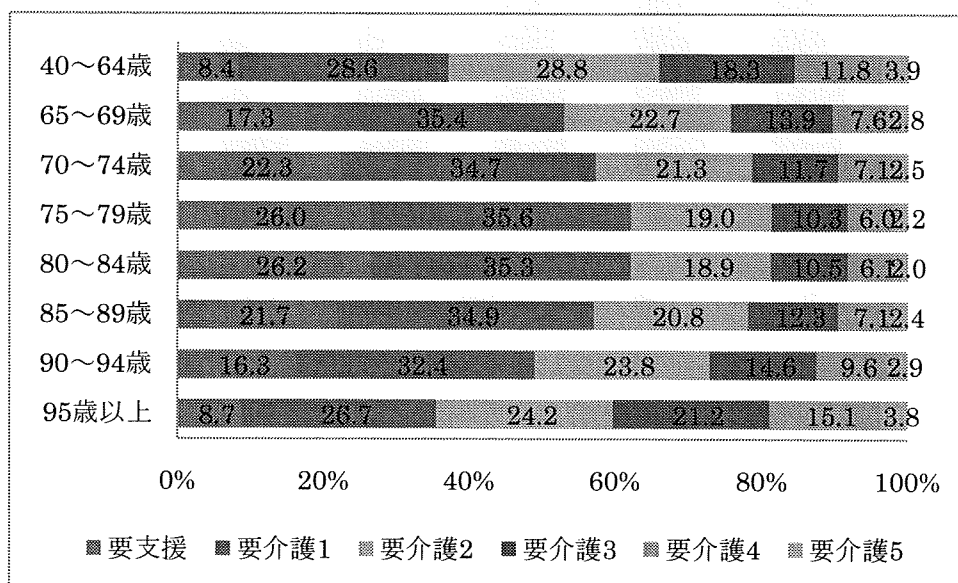


図 1-7 分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合

表 1-9 全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合

	40～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85～89 歳		90～94 歳		95 歳以上	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
非該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要支援	21.5	16.1	35.7	20.8	74.7	23.2	157.6	25.8	242.8	25.8	201.4	21.1	78.3	13.6	15.8	6.3
要介護 1	19.5	14.6	27.1	15.8	54.1	16.8	110.5	18.1	179.5	19.0	177.9	18.6	90.6	15.7	25.9	10.3
要介護 2	33.0	24.7	37.8	22.0	65.9	20.5	115.1	18.8	171.3	18.2	179.7	18.8	111.8	19.4	42.4	16.9
要介護 3	25.3	18.9	30.4	17.7	53.4	16.6	94.7	15.5	143.6	15.2	158.6	16.6	110.8	19.2	52.6	21.0
要介護 4	17.9	13.4	22.2	12.9	40.9	12.7	74.5	12.2	113.9	12.1	131.4	13.8	102.4	17.7	60.8	24.3
要介護 5	16.5	12.4	18.5	10.8	32.5	10.1	59.3	9.7	91.3	9.7	105.8	11.1	83.2	14.4	53.0	21.2
	133.6	100.0	171.7	100.0	321.5	100.0	611.8	100.0	942.4	100.0	954.8	100.0	577.2	100.0	250.5	100.0

※全国データの N 数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援 1 要支援 2 を足して、要支援者としている。

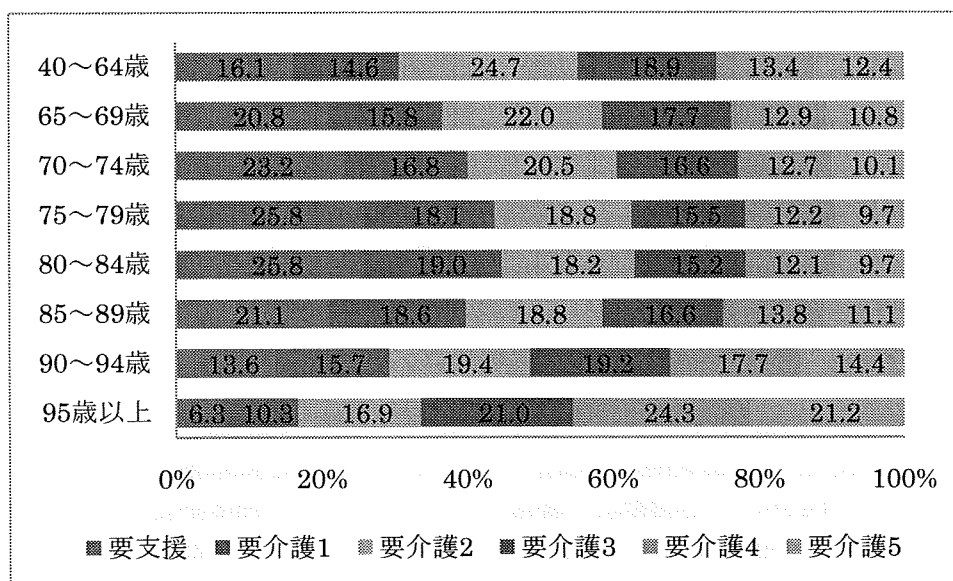


図 1-8 全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合

4) 性別年齢階層別要介護

① 分析データ（男性）

男女別に年齢階層別に分析データと全国データにおける要介護度の構成割合を見たところ、男性の分析データにおいては、要支援の割合に着目すると85～89歳が21.9%と一番高く、続いて85～89歳が21.0%と多かった。これらの年齢階層をピークとして若年になるほど、あるいは高齢になるほど、重度の割合が多くなる傾向は同様であったが、90～94歳について要支援が20.3%と多いのが特徴であった。

また、要支援高齢者については分析データ全体と比較すると、やや少ない傾向にあり、女性に軽度高齢者群がより多い傾向が示された。

表 1-10 分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合（男性）

	40～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
非該当	1	0.1	3	0.1	9	0.2	23	0.5	38	0.8	27	0.7	2	0.1	1	0.4
要支援	87	6.3	258	11.8	535	14.8	851	19.0	1028	21.0	871	21.9	339	20.3	26	9.1
要介護1	348	25.3	686	31.4	1146	31.7	1476	33.0	1635	33.4	1367	34.4	583	34.9	98	34.4
要介護2	412	30.0	562	25.7	913	25.3	1039	23.2	1073	21.9	894	22.5	364	21.8	75	26.3
要介護3	284	20.7	388	17.7	566	15.7	600	13.4	633	12.9	434	10.9	219	13.1	42	14.7
要介護4	192	14.0	217	9.9	340	9.4	353	7.9	365	7.5	280	7.1	116	7.0	33	11.6
要介護5	51	3.7	74	3.4	105	2.9	130	2.9	124	2.5	97	2.4	46	2.8	10	3.5
合計	1375	100.0	2188	100.0	3614	100.0	4472	100.0	4896	100.0	3970	100.0	1669	100.0	285	100.0

※全国データのN数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援1要支援2を足して、要支援者としている。

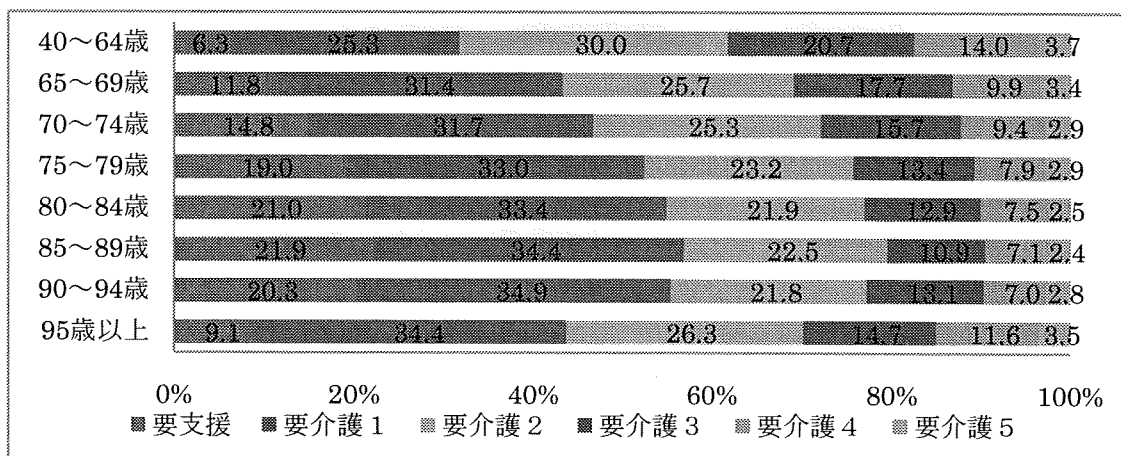


図 1-9 分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合（男性）

② 分析データ（女性）

女性の分析データにおいては、要支援の割合に着目すると一番多い層が75～79歳で28.9%であった。続いて、80～84歳が28.1%、70～74歳が27.1%と示された。これらの群において特に要支援高齢者が男性よりも多く、要介護1を含めると、75～79歳においては65.6%と7割弱を占めていた。

表 1-11 分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合（女性）

	40～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
非該当	3	0.2	16	0.6	39	0.7	109	1.0	144	1.1	100	0.9	27	0.6	2	0.2
要支援	145	10.4	577	21.8	1517	27.1	3016	28.9	3739	28.1	2389	21.6	711	14.8	86	8.6
要介護1	445	31.9	1026	38.8	2046	36.5	3830	36.7	4785	36.0	3868	35.0	1511	31.5	244	24.5
要介護2	386	27.7	533	20.2	1045	18.7	1787	17.1	2360	17.7	2227	20.2	1175	24.5	235	23.6
要介護3	223	16.0	282	10.7	513	9.2	935	9.0	1281	9.6	1413	12.8	722	15.1	230	23.1
要介護4	136	9.8	149	5.6	317	5.7	544	5.2	745	5.6	790	7.2	503	10.5	161	16.1
要介護5	56	4.0	60	2.3	121	2.2	203	1.9	248	1.9	256	2.3	141	2.9	39	3.9
合計	1394	100.0	2643	100.0	5598	100.0	10424	100.0	13302	100.0	11043	100.0	4790	100.0	997	100.0

※全国データのN数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援1 要支援2を足して、要支援者としている。

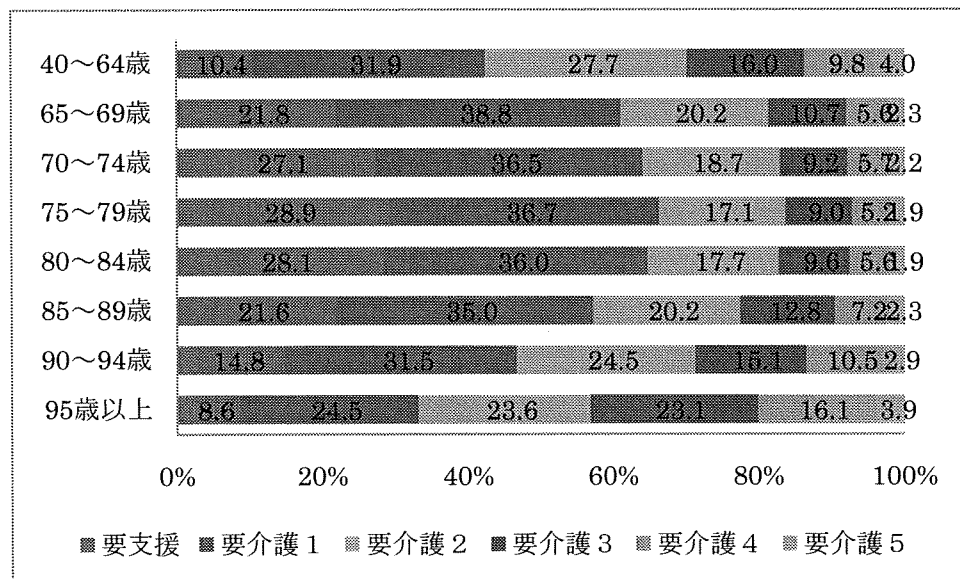


図 1-10 分析データにおける年齢階層別要介護の構成割合（女性）

③ 全国データ（男性）

男性の全国データにおいては、要支援高齢者が一番多い階層が80～84歳19.0%、つづいて85～90歳が18.9%であった。95歳以上を除き、要支援高齢者が占める割合は、19～15%の間を示しており、年齢階層により要介護度の分布に大きな差が見られないのが特徴であった。これは要介護5においても9.7～12.0%に推移しており、重度要介護高齢者においても同様の傾向が示されていた。

表 1-12 全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合（男性）

	40～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
要支援	11.2	15.3	15.6	17.4	24.3	16.9	38.3	17.4	51.4	19.0	38.8	18.9	16.7	15.4	4.0	10.4
要介護1	10.6	14.5	13.6	15.2	22.2	15.4	36.6	16.6	49.1	18.2	38.5	18.7	19.0	17.5	5.4	14.1
要介護2	18.4	25.1	20.6	23.0	32.5	22.6	47.3	21.5	56.3	20.8	42.9	20.9	23.2	21.4	8.2	21.4
要介護3	14.6	19.9	17.4	19.5	27.9	19.4	42.0	19.1	49.2	18.2	37.7	18.3	21.5	19.8	8.5	22.2
要介護4	9.9	13.5	12.6	14.1	21.4	14.9	32.5	14.8	38.3	14.2	28.6	13.9	17.3	15.9	7.5	19.6
要介護5	8.6	11.7	9.6	10.7	15.5	10.8	23.4	10.6	26.3	9.7	19.2	9.3	11.0	10.1	4.6	12.0
合計	73.3	100.0	89.4	100.0	143.8	100.0	220.1	100.0	270.5	100.0	205.6	100.0	108.6	100.0	38.3	100.0

※全国データのN数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援1 要支援2を足して、要支援者としている。

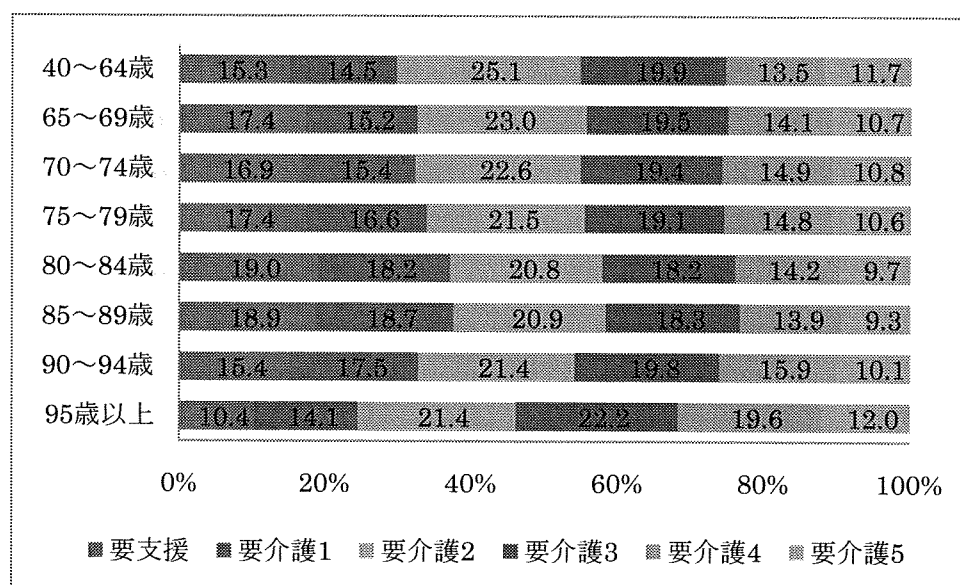


図 1-11 全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合（男性）

④ 全国データ（女性）

女性の全国データにおいては、要支援高齢者が一番多い年齢階層は 75～79 歳であり 30.5%と 3 割強が占めていた。続いて、80～84 歳 28.5%、70～74 歳 28.4%と示され、分析データと同様の年齢階層においてで要支援高齢者が多い傾向が示されていた。

しかし、95 歳以上については、要支援高齢者が 5.6%、要介護 5 が 22.8%とこれまでのデータのいずれよりも要支援が少なく、要介護 5 が多い傾向が占められ、顕著に要介護が高い傾向を示していた。

表 1-13 全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合（女性）

	40～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85～89 歳		90～94 歳		95 歳以上	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
要支援	10.2	16.9	20.1	24.4	50.5	28.4	119.4	30.5	191.4	28.5	162.5	21.7	61.7	13.2	11.9	5.6
要介護 1	8.9	14.8	13.5	16.4	31.8	17.9	73.9	18.9	130.4	19.4	139.4	18.6	71.6	15.3	20.5	9.7
要介護 2	14.6	24.2	17.2	20.9	33.3	18.7	67.9	17.3	115.0	17.1	136.8	18.3	88.6	18.9	34.2	16.1
要介護 3	10.7	17.7	13.0	15.8	25.5	14.4	52.7	13.5	94.4	14.0	121.0	16.2	89.3	19.1	44.1	20.8
要介護 4	7.9	13.1	9.6	11.7	19.5	11.0	42.0	10.7	75.6	11.3	102.8	13.7	85.1	18.2	53.2	25.1
要介護 5	7.9	13.1	8.9	10.8	17.0	9.6	35.9	9.2	65.0	9.7	86.6	11.6	72.2	15.4	48.4	22.8
計	60.3	100.0	82.3	100.0	177.7	100.0	391.7	100.0	671.9	100.0	749.2	100.0	468.5	100.0	212.3	100.0

※全国データの N 数の単位は千人、また全国データにおいては介護サービス受給者のため、非該当者はなし、要支援 1 要支援 2 を足して、要支援者としている。

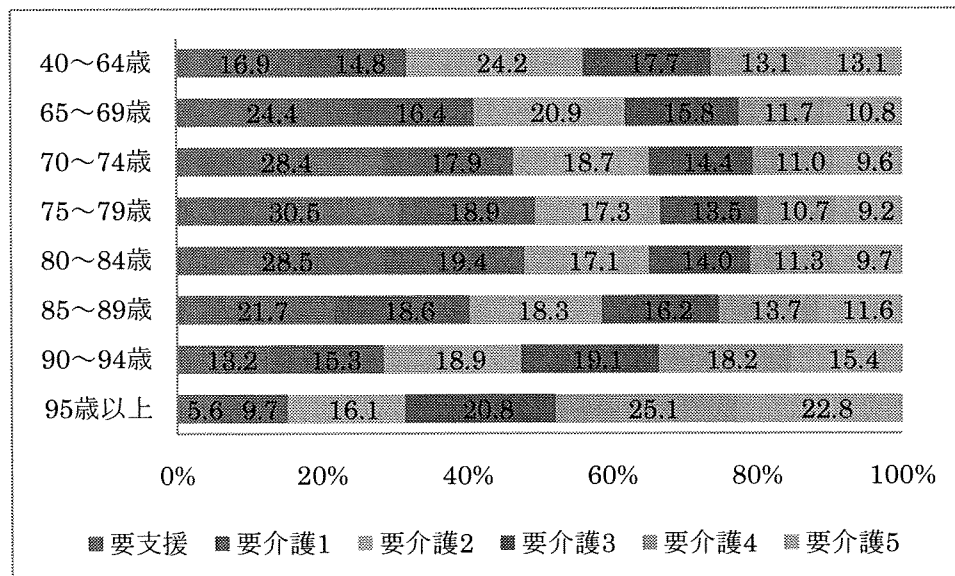


図 1-12 全国データにおける年齢階層別要介護の構成割合（女性）